

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	23032
課題名	眼科疾患のリスク因子、診断・治療・予後の検討のための後ろ向き観察研究
研究期間	倫理委員会承認日 2023 年 9 月 4 日 ～ 2028 年 3 月 31 日
研究の対象	2003 年 4 月～2028 年 3 月に当院で眼科の診察・治療を受けられた方 留萌健康の駅での目のコホート研究/眼底写真検診に参加された方（2013 年から 2017 年に実施） 遠軽厚生病院で 2021 年 1 月から 2024 年 12 月に実施された人間ドックと巡回ドックを受けた方 ひきち眼科で 2016 年 5 月 2 日から 2028 年 3 月 31 日で眼科の診療・治療を受けられた加齢黄斑変性の方
利用する試料・情報の種類	■診療情報と検診情報（詳細：年齢、性別、身長、体重、血圧、眼科検査（視力、屈折、眼位、眼球運動、瞳孔反応、眼圧、細隙灯顕微鏡所見、角膜厚、角膜内皮検査、超音波 A モード検査、前眼部断層像、眼底所見、眼底写真（造影検査含む）、眼底画像解析、眼血流検査、視野検査、網膜電図）、術者用手術記録、細胞病理学検査、組織病理学検査、細菌検査、ウイルス検査、血液検査（遺伝子関連、AIDS などの感染症関連を除く）、尿検査、髄液検査、胸部及び頭部画像検査（レントゲン、CT、MR など）、心電図、喫煙歴などの生活習慣、現病歴、疾患既往歴、家族歴、他院・他科での治療歴等）。 ☐手術、検査等で採取した組織 ☐血液 ☐その他（ ）
外部への試料・情報提供	☐自施設のみで利用 ■多施設共同研究グループ内 （株）クレスコとは、秘密の保持を含めた共同研究契約を交わします。同研究所とは Virtual private network でつなぎ、二段階リモートアクセスで足踏み端末をおくことで、患者情報、被検者情報は本校からは出さず、閲覧は可能となります。閲覧可能なデータは特定の個人を識別することができる氏名を識別コードに置換した直ちに個人を特定できないように加工し、匿名化した情報です。ひきち眼科の患者情報と遠軽厚生病院で実施された人間ドックと巡回ドックのデータは、同院で個人を特定できないように加工し匿名化した情報とした上で、本校で解析します。前述の同様に被験者情報は本校から出しません。） ☐その他（提供先： ）（提供方法： ）
研究組織	[代表機関] 旭川医科大学眼科学講座・眼科地域医療創生講座 特任教授 木ノ内玲子 [共同研究機関] （株）クレスコ 丸山 久、遠軽厚生病院 稲葉聡、ひきち眼科 引地泰一
研究の意義、目的	この研究で、眼疾患の診断方法、治療成績、長期予後を検討することにより、眼科疾患のより良い診断法、治療法を見つける一助となります。
研究の方法	旭川医科大学病院眼科に受診歴のある患者さんに関して、眼の疾患の診断方

	法、治療成績、長期予後等について、2003 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 までの間の旭川医科大学病院の診療記録（紙カルテ、電子データなど）からデータを取り出し、科学的な解析に用います。加齢黄斑変性の検討には、当院に加えてひきち眼科（20016 年 5 月 2 日から 2028 年 3 月 31 日）の診療記録も解析します。また、留萌健康の駅での目のコホート研究/眼底写真検診（2017 年で終了）と遠軽厚生病院で 2021 年 1 月から 2024 年 12 月に実施された人間ドックと巡回ドックのデータの解析も併せて行います。データ利用開始日は 2023 年 9 月 26 日です。
その他	試料・情報の管理について責任を有する者：旭川医科大学学長 西川祐司 (株)クレスコと共同研究契約締結し、研究を実施します。 利益相反に関して定期的に管理していきます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先 研究責任者：旭川医科大学眼科学講座・眼科地域医療創生講座 特任教授 木ノ内玲子 住所：旭川市緑が東 2 条 1 丁目 1-1 連絡先：0166-68-2543